

2021 年 12 月 13 日

報道関係者各位

ニュースリリース

株式会社セキュアスカイ・テクノロジー

株式会社ビットフォレスト

Apache Log4j の任意のコード実行の脆弱性（CVE-2021-44228）について
クラウド型 WAF「Scutum」が対策を完了、難読化による多様な攻撃パターンも防御可能に
～2021 年 12 月 12 日時点で既に 483 サイト 2553 件以上の攻撃を観測～

株式会社セキュアスカイ・テクノロジー（東京都千代田区 代表取締役 大木 元 以下、SST）がサービス提供を、株式会社ビットフォレスト（東京都千代田区 代表取締役 高尾 都季一 以下、ビットフォレスト）が技術提供を行うクラウド型 WAF サービス「Scutum（スキュータム）」は、2021 年 12 月 9 日より世界的に報告され始めた「Apache Log4j の任意のコード実行の脆弱性（CVE-2021-44228）」について対策を完了したことをお知らせします。

Scutum では、2021 年 12 月 10 日の段階で本脆弱性への基本的な対策の実装を完了いたしました。翌 12 月 11 日には、難読化により WAF の防御をすり抜けようとする攻撃パターンが今後増加することを想定した追加対策を行い、Scutum を経由する通信において本脆弱性を狙った攻撃を幅広く検知・防御できる状態となっております。

Scutum では 2021 年 12 月 12 日までの間に、脆弱性の有無を探る準備行為も含め、日本国内のサーバーに対する 483 サイト 2553 件以上の本脆弱性を狙った攻撃を検知・防御しており、観測される攻撃は時間とともに増加する傾向にあります。

●本脆弱性に関する注意喚起について

Apache Log4j の任意のコード実行の脆弱性（CVE-2021-44228）について、JPCERT/CC から 2021 年 12 月 11 日に注意喚起が行われています。

- JPCERT/CC : <https://www.jpcert.or.jp/at/2021/at210050.html>
- 概要 : Java ベースのオープンソースのロギングライブラリの Apache Log4j には、任意のコード実行の脆弱性（CVE-2021-44228）があります。Apache Log4j が動作するサーバーにおいて、遠隔の第三者が本脆弱性を悪用する細工したデータを送信することで、任意のコードを実行する可能性があります。
- 対象 : Apache Log4j 2.15.0 より前の 2 系のバージョン
- 対策 : The Apache Software Foundation から本脆弱性を修正したバージョンが公開されています。速やかな対策の適用実施をご検討ください。

※注意喚起の詳細および具体的な対策は JPCERT/CC の情報より直接ご確認ください。

本脆弱性は、外部からの任意のコード実行というダメージの大きさに加え、Java を利用したアプリケーション環境で広く使われているログ出力ライブラリの脆弱性であり、様々な Web サービスやプラットフォームで影響が生じること、攻撃者は特に高度なスキルを必要とせず、悪意あるファイルを対象システムに送り込むことができること、さらには任意のコード実行の影響までは受けない場合でも、データベースのパスワードや API キーの様な資格情報の窃取目的での攻撃が発生し得ることから、各方面からの注意喚起の通り、Apache Log4j のユーザーには早急な対応が求められます。

* 参照： <https://logging.apache.org/log4j/2.x/security.html> ※本プレスリリース内での日時表記は日本時間を基準としています。

●新たな脆弱性に対する Scutum の対応について

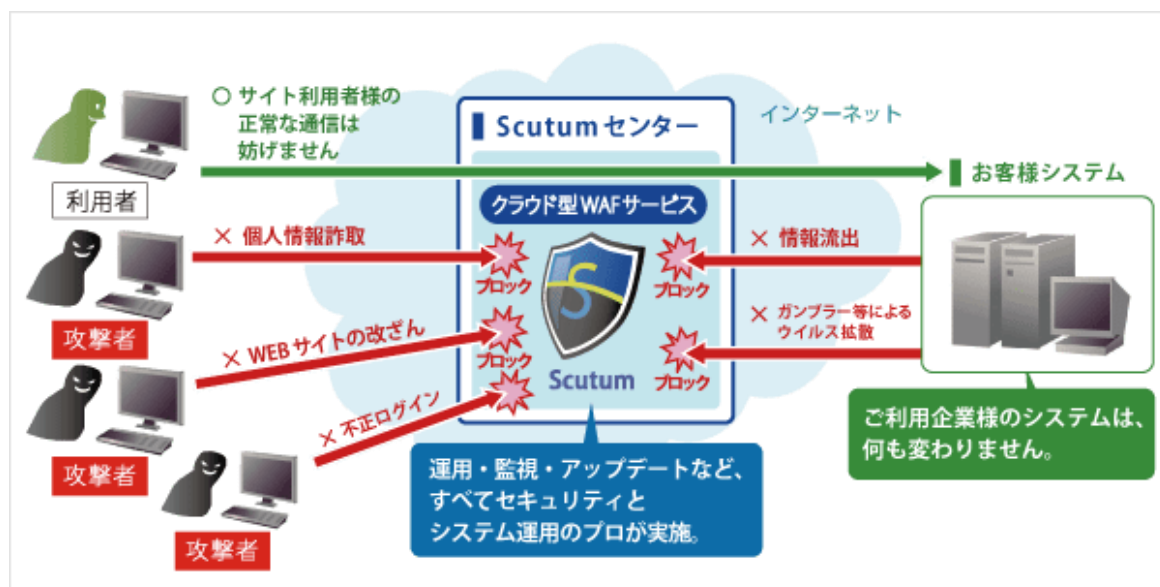
Scutum では新たな脆弱性への対応を重視し、常に最新のセキュリティ対策を反映しております。新たに脆弱性が発見された場合は、速やかにその脆弱性を Scutum で防御できるかのチェックを行います。まだ Scutum で対応できていない問題が見つかった場合には、検知システムや防御ロジックの見直しを行い、できるだけ早く Scutum で対応できるような体制を用意しています。

● Scutum の新たな脆弱性への対応一覧：

https://www.scutum.jp/information/technical_articles/index.html

●クラウド型 WAF サービス「Scutum（スキュータム）」について

インターネット上で『盾』となって、Web サイトを不正アクセス（攻撃）から守るセキュリティサービスです。お任せ運用・低コストでかつ余計な自前の設備を一切持つことなく、より安全な Web サービスの提供を実現します。



Scutum は、国内クラウド型 WAF 市場におけるシェア 1 位を連続 11 年獲得しています(*)。今後もクラウド型 WAF の国内トップブランドとして Web サイトの安全性向上に寄与して参ります。

- クラウド型 WAF サービス「Scutum (スキュータム)」 : <https://www.scutum.jp/>
- WAF とは ? : <https://www.scutum.jp/outline/waf.html>

(*)出典 ミック経済研究所刊『情報セキュリティマネージド型・クラウド型サービス市場の現状と展望 2021 年度版』のクラウド型 WAF サービス<発刊日 2021 年 6 月 30 日 (<https://mic-r.co.jp/mr/02100/>) >

(*)2010 年度から 2020 年度の実績 (https://www.scutum.jp/topics/waf_leader.html)

【株式会社セキュアスカイ・テクノロジー 会社概要】

社名 : 株式会社セキュアスカイ・テクノロジー
本社所在地 : 東京都千代田区神田司町 2-8-1 PMO 神田司町 2F
設立 : 2006 年 3 月
代表者 : 代表取締役 大木 元
事業内容 : Web アプリケーションの脆弱性診断
クラウド型 WAF サービス、セキュリティ教育・支援サービス、コンサルティング
URL : <https://www.securesky-tech.com/>



【株式会社ビットフォレスト 会社概要】

社名 : 株式会社ビットフォレスト
本社所在地 : 東京都千代田区神田錦町 1-17-5 神田橋 PR-EX8F
設立 : 2002 年 2 月
代表者 : 代表取締役 高尾 都季一
事業内容 : Web アプリケーションセキュリティ製品の開発・販売
URL : <https://www.bitforest.jp/>



【お問い合わせ先】

株式会社セキュアスカイ・テクノロジー
広報担当 : 大倉 千代子 (おおくら ちよこ)
E-mail : pr@securesky-tech.com
TEL : 050-5445-8822